



関中央ロータリークラブ

2018-2019 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：関市池尻 91-2
 事務局：関市西本郷通 5-2-53 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
 会長 波多野篤志 副会長 古田博文 幹事 吉田和也 クラブ会報委員長 塚原康寿

2018～2019 年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ
「自ら行動するロータリーへ！」



インスピレーションになるう

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 第1956回例会 2018年11月4日(日) 集合受付8時30分～
 「森林整備例会(里山)」 / 担当 環境保全・インターアクト委員会

前例会の記録 第1955回2018年10月25日(木)
 C. A 地区大会報告
 卓話 関市国際交流協会 副会長 西村朋也様
 テーマ 「関市国際交流協会について」

*ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱
 *お客様の紹介

関市国際交流協会 副会長 西村 朋也様

*会長あいさつ 波多野篤志会長

10月13日(土)と14日(日)は2018-2019年度国際ロータリー第2630地区 地区大会が開催されました。後程担当者の発表が有りませんが、私なりの感想を少し発表させていただきます。今年、岐阜加納ロータリークラブがホストクラブで、岐阜南ロータリークラブがコ・ホストクラブとして長良川国際会議場と岐阜都ホテルで開催されました。



第1日目は、13時10分より岐阜県立岐阜商業高等

学校吹奏楽部の演奏で始まりました。私には、音楽の才能がないので細かいことは良く判りませんが、いつ聞いても吹奏楽の演奏は感動させられます。13時30分より開会・点鐘です。その後RI会長代理講演として本田博己さまのお話が有りました。会員基盤の強化、意欲の喚起—それを実現するためのお話をされました。初日の講演は、国際ロータリー第2710地区パスタガバナ-西村栄時さんのお話で、会員基盤を整える～ロータリーを知り、ロータリーを楽しむ～と題して、お話をされました。その後、RIや地区の表彰、交換学生やインターアクトのスピーチがあり、一日目の終了です。この日は、親睦委員長の高井さんのお計らいにより、会場を岐阜市内の「うお義」に移しまして親睦会を開催しました。ここでもまた違った感動をいただきました。

第2日目は、9時15分より開会・点鐘です。その後RI会長代理アドレスとして本田博己さまのお話が有りました。ロータリーの大きな方向性について話されました。それぞれのロータリークラブの戦略的計画についてです。今年度の戦略的目標は、

1. クラブのサポートと強化、
2. 人道的奉仕の重点化と増加、
3. 公共イメージと認知度の向上です。

その後、大会特別委員会報告と大会決議採択、記念講演と成りました。この日の記念講演は、アグネス・チャンです。「皆さんにとって丁度良いアイドルかも知れませんが」と前回の例会で言いましたが、私にとってもアイドルでした。アグネス・チャンや南沙織などは当時初めて白黒テレビで見た時の感動・衝撃を今でも思い出します。又、記念講演でのアグネス・チャンの話は、「みんな地球に生きるひと～日本の国際化と子どものみらい～」と題して話されました。貧困国の実状と世界平和について考えさせられるものがありました。毎年どこの地区大会に行っても何かしらの感動をいただけます。来年は三重県津市での開催です。11月16・17日に津市産業スポーツセンター「サオリーナ」を会場に行われます。1日目の講演は歴史学者の所功さんです。2日目の記念講演は、男はつらいよ 寅さんシリーズで寅さんの妹役の倍賞千恵子さんの予定だそうです。大勢のご参加をお願いします。

話は変わりまして、先日の10月20日(土)に関市役所市民ホールにて、「ひとり親家庭に新米の贈り物」として、関市役所 子ども家庭課の主催で、市内のひとり親家庭で、18歳未満の子供がいる世帯を対象に、新米を2升程度ごと配りました。安心メールの効果もあり、ほぼ半日で155世帯の方にお渡しすることが出来ました。ご協力をいただいた会員方々、どうもご苦労様でした。以上で本日の挨拶とさせていただきます。

* C. A 地区大会報告

・地区大会1日目の報告

石原 妙生君

10月13日秋晴れの中、長良川国際会議場で開催されました。この建物は世界的に有名な建築家の安藤忠雄氏が設計したもので、特徴のコンクリート打ち放し仕上を多用し、階段状の箱に巨大な卵を入れた様なユニークな形状の建物です。駐車場のことも考え少し早く着きましたので、円筒形の吹抜ホールに用意してありま



した、友愛の広場にて岐阜ならではの五平餅や栗きんとんを頂きながら建築のうんちくを垂れているうちに定刻になりました。

オープニングは県立岐阜商業の吹奏楽部による演奏で、NHKの大河ドラマ「西郷どん」のテーマソングでした。まるでテレビの映像が浮かんで来る様な素晴らしい演奏で、その他演奏の3曲も耳に良くなじんだもので大変良い気分で開催を迎えました。

一日目は国際ロータリー第2710地区パストガバナーの西村栄時さんの基調講演で、『会員基盤を整える～ロータリーを知り、ロータリーを楽しむ～』の題で講演が有りました。入会したら、まずロータリーを知ることが大事で有る。それは近年、会員減少を回避するため無理に入会をお願いしたり、本来の精神をないがしろにする等の規制を緩和する傾向であるが、その結果、ロータリーへの関心や熱意が薄れ、組織が自信と誇りを失いかけている様になっている。どうすればよいか？

①クラブの活性化：例会の充実を図る。例会は日々の業務の息抜き場であり、元気を奮起させる再生工場の様であると良い②奉仕活動の充実：感動をもたらす奉仕活動、安易な金品の寄付ではなく、地域を巻き込み共感や称賛される感動ある奉仕③ふさわしい仲間を誘う：会員増強することでクラブに活気が出る④ロータリーの心を知る：人生を歩むうえで一番大切なものは『恕』である。“己の欲せざるところ 人に施すなかれ”(孔子の論語より)この様に活動し本物が輝くとき、「ロータリアンは人間的にも、職業人としても素晴らしい！ロータリーの会員企業であれば信頼でき安心！」となるのでは。まとめとして、ロータリーの本質を理解した上で、ロータリーの精神に則った活動する事が大切である。

我クラブの活動はまさにそれに当てはまっていると思いますので、良い仲間を増やしながらかつて継続していけたら良いと思います。

最後に、今回の地区大会一日目は「お祭り」ムードは全くなく、「まじめで地味」な印象でこれも木村ガバナーの職業的カラーの表れかと感じた大会でした。私は入会以来毎年参加していますが、毎回何か得るものが有ると思っています。出席義務にかかわら

ず、ロータリーをより知る為にまた参加をしたいと考えています。

・地区大会 2 日目の報告

小川 糧司君



2 日目の大会の報告をします。大会特別委員会報告と大会決議採択の報告。11 時から記念講演「みんな地球に生きる人 日本の国際化と子供の未来」のテーマで、歌手アグネス・チャンが 1 時間一生懸命早口で話をしてくれました。12 時から次期開催地の発表があり、ガバナーエレクトの津 RC の辻正敏さんから挨拶され 12 時半に点鐘で終わり、その後都ホテルに移り、大昼食会が始まりました。食事はいつものごとく人気の目玉のご馳走は一杯の待ちがあり、人が多くてほどほどに食べて帰途に着きました。アグネス・チャンの記念講演の話を少しします。彼女は国際ユニセフの大使を 98 年から務め、その間の体験談のアフリカや南アジアのいろんな悲惨な子供たちの現状を一生懸命話してくれました。世界では 5 歳までの子供が年間 600 万人亡くなっていて、その原因が①水質の不良による下痢②肺炎③栄養失調④戦争、この 4 つが原因で亡くなっているようです。ここ 20 年アフリカでは雨が全く降らない地域が徐々に南へ広がっており、飲み水に困り、食料が手に入らなくなってくると、食べ物をめぐって民族間の争いに発展し、若い女、子供を誘拐し、若者を戦争へと追い立てていくのだそうです。生きるために 8 歳くらいから戦士になっていくようです。これも温暖化の影響のようです。地球が温暖化しなければ、食料が確保でき、争いごともしなくて済みます。私たちが CO²を出すと、ますます温暖化が進みこれらの人々を苦しめていることにつながるのだなと思いました。今月 20 日にも地区の財団セミナーに西田健一さんと行って来ましたが、今、地区ではグローバル補助金を申請して、新興国で何か役立つことをしてほしいと強調していました。しかも地区の財団小委員会で現地の RC を紹介し、事業も候補を示すという話でした。このアグネス・チャンの話を聞くと何か本当にできることはないのだろうかと思いました。

*卓 話 関市国際交流協会

副会長 西村朋也様



テーマ

「関市国際交流協会について」

今日は国際交流協会の説明ということで、関中央 RC の皆様に現状を改めてご説明をさせて頂くとともに、2 つのお願いをしに参りました。1 つ目は副会長を出していただけないかということ、2 つ目は会員募集ということで、法人会員になって頂けないかということです。

私は 1968 年生まれで、仕事はコンピューターのメンテナンスをしております。40 才までは青年会議所で色々な事を学ばせて頂き、2 年ほど商工会議所の青年部にも所属し、45 才まで務めさせて頂きました。今は関ライオンズクラブに所属しております。頼まれたら率先して受けるという事を JC で教わりましたので、それに背かないように、国際交流協会の副会長も受けさせて頂き現在に至っております。

国際交流協会の副会長としては今年で 7 年目になりますが、現在は多文化共生委員会委員長も務めております。組織改革も、会長交替に向けて随分やってまいりましたが、関中央 RC さんにも副会長をお願いできないかと思っております。ボランティアサークルで語学系の支援をしている団体にも副会長をやって頂きたいと思っており、バランスを取りたいと思っております。

関市国際交流協会は、平成 6 年 5 月 8 日に設立され、設立の経緯は、当時の文書を見ますと「関市において刃物、縫製企業の海外からの研修生の受け入れや企業の海外進出が進むとともに在住外国人の急激な増加がみられるようになったことから、本市においても国際化に対応できる町づくりのため国際交流行政とともに民間レベルの国際交流事業の推進の必要性が高まってきた。そこで広く市民から構成された国際交流推進検討委員会を設置して、設立しての取り組みが始められた」ということでした。

会としては会長交替に向け、2016 年から組織改革をはじめ、多文化共生推進委員会が出来ました。ボランティア交流委員会は全員女性です。内容は料理に関することがほとんどなので、関中央 RC 様には

多文化共生推進委員会の分野で事業を一緒にやって頂けないかということです。

広報誌の「コスモピアせき」を見ながら、事業について説明させていただきます。

①夏休み親子教室・・夏休みに外国人の先生を呼んで日本の子ども達に英語を教える。

②日本文化体験・・茶道体験

③日本語を母語としない中学生のための「わかくさ教室」(平成30年度新規事業)・・特に高校入学に関して、勉強はできるが、日本語が分からないから授業についていけないという子たちのためにボランティアでやっている授業

④日本料理交流会

⑤世界の料理交流会

⑥綱引き&もちつき大会・・もちつき+スポーツイベントをやっている事業

⑦日本語講座(ご案内)・・研修生の子達が日本語を学ぶために、関市日本語ボランティアサークルの活動。教科書代の助成している。

⑧日本語講座初級土曜教室

などです。関市国際交流協会は設立当初は、行政が主導し、民間で作ったというお話をさせていただきましたが、実質2015年頃までは半官半民でした。今後は民間レベルでやっていかなくてはいけないと思っております。2016年頃から事業の見直しを行い、交流を増やし、日本文化を体験する機会を増やすことによって、研修に来た研修生の方がいいイメージを自分の国に帰ってもらうことができる、また日本のすばらしさを知ってもらうことが大事なのではないかという意見がでました。そんなことから平成29年から関青年会議所とマッチングして関まつりに参加し、おみこしを作成し担ぐ事業を始めました。実際に活動を考えて、実際に活動できる仲間として副会長というポジションの理事の方をお迎えできたらいいなと考えております。

個人会員、法人会員の会費と市役所の補助金をもって運営している団体ですので、活動の内容を理解して応援して頂ける企業の経営者の皆様のご協力がなくては、いずれなくなってしまいます。ぜひ法人会員のお願いをさせて頂いて私の今日のお話とさせ

て頂きます。ありがとうございました。

*出席委員会

会員数34名、本日の出席18名です。

*ニコボックス委員会

・会長・副会長・幹事

地区大会報告の皆様ご苦労様です。関市国際交流協会 副会長 西村朋也様 卓話よろしくお願い致します。

・小澤重忠君

地区大会報告の皆さんご苦労さまです。

18名のご投函ありがとうございました。

*幹事報告

・11月1日理事・役員会を味の孫六で行います。

・11月11日IMの出席者の方は、11時に関シティターミナルから乗り合わせで会場に向かいます。後日ご案内を出させていただきます。

<次例会の案内>

第1957回 2018年11月10日(土)

「長良川流域連携クリーン作戦例会」

集合時間 午前10時

集合場所 関観光ホテル前の河原

担 当 環境保全委員会